



平成 25 年 1 月 30 日
独立行政法人国立科学博物館

科博NEWS展示

『千石正一』と爬虫両生類標本 ～セーフティーネットで守られたコレクション～

爬虫両生類の調査研究、理解普及で知られる動物学者千石正一氏の標本コレクションが、平成 24 年 10 月に、国立科学博物館（台東区上野公園、館長：近藤 信司）に寄贈されました。今回の寄贈をきっかけとして、紹介パネルと一部の標本を展示いたします。本展示を通じて、千石先生のコレクションと活躍を振り返り、自然史標本セーフティーネットの機能の重要性を紹介します。

2 月 5 日より下記により展示を開始し、会期中には、映像「千石先生のいのちはみんなつながっている」の上映と、千石氏とゆかりのある方々によるトークショーの 2 つの特別イベントも開催いたします。

記

- 【開催期間】 平成25年2月5日（火）～5月12日（日）まで
- 【開催場所】 国立科学博物館（東京・上野公園）地球館 1階 系統広場横
- 【展示構成】
1. はじめに：千石正一氏と爬虫両生類標本
 2. 「自然史標本セーフティーネット」とは？
 3. 千石正一氏について紹介
 4. 千石正一氏のコレクション パネルと標本で構成します。
- 【後 援】 松戸市教育委員会、一般財団法人自然環境研究センター、日本爬虫両棲類学会、TBSテレビ（予定）
- 【イベント】 千石先生の特別映像の上映及び千石先生とゆかりの方々によるトークショー（全3回：2/23, 3/23, 3/24）を開催します。（添付チラシ参照）
- ◆ 映像上映 第53回科学技術映像祭 [主催：(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団] 自然・くらし部門 部門優秀賞受賞作品
「千石先生のいのちはみんなつながっている」の上映
全3回（イベント各回上映）協力：「千石先生のいのちはみんなつながっている」上映実行委員会
- ◆ トークショー
- 第1回（2/23）日橋一昭氏 <埼玉県こども動物自然公園園長>
「生物やの虎の穴・・・本屋のおじさんだった千石正一」
- 第2回（3/23）太田英利氏 <兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員、兵庫県立大学大学院教授>
「学者としての千石正一：なぜ彼は標本を集めたのか？」
- 第3回（3/24）田向健一氏 <田園調布動物病院院長>
「爬虫類を飼うということ・・・珍獣ドクターと呼ばれて」
- 時間（各回とも）：13時開場 13時30分開始 15時30分終了予定
会場： 国立科学博物館 地球館 3階 講義室 各回定員：先着70名

本件についての問合せ 経営管理部 研究推進・管理課 研究活動広報担当 内尾 優子
動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究員 川田 伸一郎
TEL: 029-853-8903 FAX: 029-853-8998 E-mail: outreach@kahaku.go.jp
<国立科学博物館ホームページ> <http://www.kahaku.go.jp/>

『千石正一』と 爬虫両生類標本



～セーフティーネットで守られたコレクション～

爬虫両生類の調査研究、理解普及で知られる千石正一氏の標本コレクションが、国立科学博物館に寄贈されました。今回の寄贈をきっかけとして、紹介パネルと一部の標本展示を通じて、千石先生のコレクションと活躍を振り返り、自然史標本セーフティーネットの重要性を紹介します。

2013年
2/5(火)→12(日)

休館日:毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は火曜日)
ただし、3/25(月)、4/1(月)、4/30(火)は開館

国立科学博物館 [東京・上野公園]
地球館1階系統広場横

開館時間

午前9時～午後5時
金曜日は午後8時まで

4/27(土)から5/6(月・祝)は午前9時～午後6時
ただし、5/3(金・祝)は午前9時～午後8時
※入館は各閉館時刻の30分前まで

入場料

常設展示入場料のみでご覧いただけます。
常設展入館料

一般・大学生 600円(団体300円)
高校生以下および65歳以上無料
※団体は20名以上

〈主催〉国立科学博物館

〈後援〉松戸市教育委員会
一般財団法人自然環境研究センター
日本爬虫両生類学会
TBSテレビ

特別イベント

千石先生の特別映像の上映と、千石先生とゆかりの方々によるトークショーを開催します。

◆ 映像上映会「千石先生のいのちはみんなつながっている」全3回(イベント各回上映)

<協力>「千石先生のいのちはみんなつながっている」上映実行委員会

◆ トークショー

第1回:2月23日(土)「生物やの虎の穴・・・本屋のおじさんだった千石正一」日橋一昭氏

第2回:3月23日(土)「学者としての千石正一:なぜ彼は標本を集めたのか?」太田英利氏

第3回:3月24日(日)「爬虫類を飼うということ・・・珍獣ドクターと呼ばれて」田向健一氏

各回開催時間:13時開場 13時30分開始 15時30分終了予定

会場:国立科学博物館 地球館 3階 講義室

詳細は裏面をご覧ください。



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

お問い合わせ

ハローダイヤル 03-5777-8600

ホームページ

<http://www.kahaku.go.jp/>

千石 正一 コレクションの概要



TBS系の動物番組で解説者として度々登場したことから、テレビでおなじみの「千石先生」、動物飼育雑誌での寄稿や数ある書籍などで知る人も多いかもしれません。千石先生はタレント？動物好きのおじさん？それとも研究者？多彩な才能を開花させた千石氏ですが、彼が膨大な量の標本を収集していたことはあまり知られていません。

千石正一爬虫両生類コレクションは、総標本数8000点以上にのぼります。生前、コレクションは松戸市教育委員会で管理されていましたが、昨年10月にすべて国立科学博物館へ寄贈されました。この膨大な標本コレクションから、千石氏の研究者としての一面をうかがい知ることができます。本展示では、千石氏の活動・業績を振り返り、彼が残した標本コレクションの意義について考えます。



千石正一 プロフィール

1949年4月23日 - 2012年2月7日。東京都世田谷区出身の動物学者。千葉県立船橋高等学校卒業。東京農工大学農学部蚕糸生物学科卒業。財団法人自然環境研究センターの設立メンバーの一人。東京環境工科専門学校講師、帝京科学大学、星槎大学客員教授をつとめた。2000年「みどりの日」自然環境功労賞環境庁長官表彰（環境教育）を受賞。

特別イベント開催

会場：国立科学博物館 地球館3階 講義室
時間：13時開場 13時30分開演 15時30分終了予定
イベント定員：各回先着70名

- ◆ 第53回科学技術映像祭 自然・くらし部門 部門優秀賞受賞作品
『千石先生のいのちはみんなつながっている』上映会
＜協力＞「千石先生のいのちはみんなつながっている」上映実行委員会
- ◆ 千石先生とゆかりの方々によるトークショー

トークショー講師の紹介

2月23日(土) 第1回 「生物やの虎の穴・・・
本屋のおじさんだった千石正一」



にっぽし かずあき
日橋 一昭氏

埼玉県こども動物自然公園園長
東京都立川市生まれ。東京動物園ボランティアーズ出身。こども動物自然公園飼育係を経て、はじめての現場たたきあげの園長。休みももつばら国内外の動物園めぐり。落語をきくのが大好き。

3月23日(土)

第2回 「学者としての千石正一
なぜ彼は標本を集めたのか？」

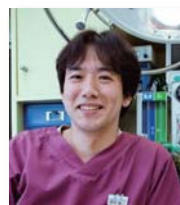


おおた ひでとし
太田 英利氏

兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員
兵庫県立大学大学院教授
京都大学理学部卒、琉球大学熱帯生物圏研究センター教授を経て現在に至る。
東アジアおよび西部オセアニアの熱帯、亜熱帯域島嶼における爬虫類の起源、多様性、および保全に関する研究に取り組んでいる。

3月24日(日)

第3回 「爬虫類を飼うということ・・・
珍獣ドクターと呼ばれて」



たむかい けんいち
田向 健一氏

田園調布動物病院院長
ペットとして飼育されるほとんどを診療対象としており、無脊椎動物、爬虫類から哺乳類までと守備範囲は広い。その専門知識を生かし、一般書、専門書、論文まで動物に関する著書を多数執筆、監修を行う。著書に「珍獣病院」「珍獣の医学」など。

〈交通ガイド〉

JR「上野駅」公園口から徒歩5分／
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分
※駐車場はありませんので、
お車でのご来館はご遠慮ください

